

2016-B

II 3-B

拠出金・基金
の名称

国連世界食糧計画拠出金

種 別

☐ イヤマークのみ ☒ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連世界食糧計画(WFP)

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局緊急・人道支援課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

WFPの事業(食料支援等)に対する拠出

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成28年度	10,805,011	90,042		1米ドル=120円	100%
平成27年度	13,842,153	125,838		1米ドル=110円	100%
平成26年度	12,486,305	128,725		1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

飢餓・貧困対策、母子の栄養強化、学校給食を通じた教育支援等の実現に寄与するとともに、シリアやイラク、アフリカ地域等、我が国が直接支援を実施できない現場の最前線で多くの事業を行うWFPの活動は、我が国が推進する「人間の安全保障」の実現に大きく貢献し、現場での実践や持続可能な開発目標(SDGs)の達成に重要な役割を果たしている。また、人道支援に関する空輸サービスや人道支援物資備蓄倉庫等のロジスティックス面で他の国際機関にない強みを有しており、我が国が実施する緊急援助においてもWFPのロジスティックス機能を活用するなど、人道支援の円滑な実施に貢献。

WFPは、2016年には世界82か国で約8,200万人に対し、約350万トンの食料を配布するなどの支援を実施。2016年度の我が国の拠出による事業では、南部アフリカ地域における食料不足への対応、中東・アフリカ地域における飢饉対策、大平洋地域での干ばつ対策、南米地域でのハリケーン対応等をはじめとし、各地において、自然災害や紛争による深刻な食料・栄養不足にある人々への緊急食料支援、子どもや妊産婦の栄養改善、学校給食、労働や職業訓練の対価としての食料配布、人道支援物資の輸送サービスや提供等の事業を実施。

WFPは、災害規模に応じた柔軟な人員配置や事務所の開設・閉鎖を実施しているほか、食料の調達・配布に際し、可能な限り現地調達を行うことや配布形態ごとの費用分析を行い、裨益効果及び単位あたりコスト等を勘案して最適な支援方法を選定するなどしてコスト削減や効率化に向けた努力を行っている。

【備考】